

2022年度

事業報告書

特定非営利活動法人東京労働安全衛生センター

1 事業の成果

2022年度、職場における新型コロナウイルス感染症の防止対策と健康確保を安全衛生の重要課題とし、良好事例の普及と取り組みの経験交流に努めた。過労死、メンタル疾患、じん肺・アスベスト関連疾患、有機溶剤中毒、化学物質による職業がん、移住労働者の労災相談活動、ホットラインを行い、被災者、遺族の権利救済を図った。作業環境測定、労働安全衛生コンサルタント、産業医等の安全衛生サービスを提供し、中小規模の事業場の安全衛生向上に貢献した。東電福島第一原発の事故収束・廃炉作業や除染業務における被ばく労働問題、過労死問題に取り組んだ。中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会の事務局を担い、石綿健康被害救済制度の抜本的改正のための活動に取り組んだ。東日本大震災から12年目の被災地で石綿スレート造の建物の調査、平成元年長野台風19号災害におけるアスベスト対策、東京都旧築地卸売市場でのアスベスト除去工事におけるアスベスト・リスクコミュニケーションの普及と啓発に取り組んだ。労災職業病ABC講座、石綿作業主任者技能講習、第30回東京労働安全衛生学校、第14期職場のメンタルヘルス講座等を開催し、安全衛生の教育研修、啓発活動に努めた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【33,099】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
労働者の安全と健康に関する被災者の救援及び援護事業	労災職業病、労働安全衛生に関する電話相談ホットラインを常設し、被災者、家族、遺族の相談を行った。2022年10/10職場のいじめ・ハラスメントホットライン、2022年12/15-16アスベスト健康被害ホットラインを実施した。職場のパワハラ、いじめへの対応策、長時間・過重労働による脳・心臓疾患、精神障害、腰痛、頸肩腕障害等の作業関連筋骨格系障害、有機溶剤中毒、じん肺・アスベスト関連疾患等の被災者、家族の困難な相談事案に対応し、労災認定、行政不服審査、裁判等を支援した。パワハラ、長時間労働によるうつ病、過重労働による脳血管疾患、建設労働者のじん肺、アスベスト関連疾患が労災認定される成果があった。中皮腫・	2022年4月1日～ 2023年3月31日	事務所、都内各所	5人	東京都内、関東近県の労働者、その家族	約5,000人	4,791

	アスベスト疾患・患者と家族の会、同関東支部、全国じん肺患者同盟東京東部支部、常磐炭田北茨城支部、建設じん肺被災者の会の活動に協力し、家族の交流と支えあいの活動を支援した。						
労働者の安全 と健康に関する 教育研修事業	労災職業病 ABC 講座①22年 8/25「労災としての新型コロナウイルス感染症」、②9/22「有機溶剤中毒」、③23年 1/26「筋骨格系障害」、④2/16「脳・心臓疾患」をオンライン併用し開催。22年 10/20 第 30 回東京労働安全衛生学校では JW ガラスリサイクル (株) 工場を巡回し、移住労働者との共催と小規模事業場の安全衛生活動をテーマに開催し、好評を得た。職場のメンタルヘルス講座を①22年 12/1「メンタル疾患と労災補償」、②3/26「ハラスメント相談からみえる職場」をオンライン併用で開催した。日本赤十字看護大学の学生 6 名の教育実習を受入れた。建設組合と連携して石綿作業主任者技能講習を 13 回開催し、同作業主任者約 500 人を養成した。今年度もコロナ禍で様フィールドワークは中止した。 22 年 8 月～9 月、順天堂大学の市民とプロスポーツを大学がつなぐ地域振興モデルプロジェクトに協力し、競技施設の安全やコミュニケーションの促進に関するワークショップを開催し、参加型改善チェックリストの開発に協力した。	2022 年 4 月 1 日～ 2023 年 3 月 31 日	事務所及び都内、 神奈川県各所	10 人	全国、東京都内、 関東近県の労働者、市民	約 1,000 人	5.385

労働者の安全と健康に関する調査及び研究事業	全国建設労働組合総連合の地方組合、建設国保組合、ひらの亀戸ひまわり診療所と連携し、建設労働者のじん肺・アスベスト関連疾患の二次診療を支援した。胸部レントゲンの再読影判定と調査結果をまとめ、予防講習を実施した。建設労働者のじん肺・アスベスト関連疾患対策ではじん肺管理区分申請、健康管理手帳交付申請、労災申請に取組み、潜在する被災者の健康管理、労災補償、救済に成果をあげた。作業環境測定機関、労働安全衛生コンサルタント事務所として、中小規模事業場で作業環境測定を行い、作業環境を改善した。産業医、労働衛生コンサルタント、作業環境測定士、産業カウンセラーを派遣し、安全衛生の専門的支援を行った。石綿含有建材の分析、既存建築物のアスベスト調査を行った。環境再生保全機構地球環境基金の助成金を受け、22年8/5-7熊本地震被災地調査、9/2-3令和元年長野市台風19号災害における中皮腫・じん肺・アスベスト対策とシンポジウム、23年2/24東京都旧築地卸売市場のアスベスト除去工事のリスクコミュニケーション活動に関する報告会、3/29-30東日本大震災被災地の石巻市の石綿スレート造の建物現況調査を実施した。3/17今年度の活動報告会をオンライン併用で開催した。	2022年4月1日～2023年3月31日	事務所及び東京都内各所、宮城県、熊本県、長野県	11人	東京都内、関東近県の労働者、市民	約10,000人	21,067
------------------------------	---	-----------------------------	--------------------------------	------------	-------------------------	-----------------	---------------

労働者の安全と健康に関する情報提供及び出版事業	機関誌「安全と健康」を10号発行した。当会のメインのホームページをリニューアルして活動報告やイベント案内等情報発信を行った。作業環境測定・労働安全衛生コンサルタント部門と国際協力・メコンデルタに加えて WINDY プログラムのホームページで活動状況を発信した。SNS の活用として当会のフェイスブックを適宜、労災職業病、労働安全衛生に関する情報発信に努めた。	2022 年 4 月 1 日～ 2023 年 3 月 31 日	事務所	5 人	東京都内、全国、アジア諸国の労働者、市民	約 100,000 万人	1,327
労働者の安全と健康に関する法令及び政策提言事業	22 年 4/5 被ばく労働問題について関連省庁及び東京電力との交渉(第 23 回)を行った。福島原発事故収束・廃炉作業に従事する労働者の安全健康の確保、被ばく防護対策の不適合事案、長期健康管理制度の拡充、労働法令違反の是正、救急医療体制等について交渉した。福島原発被ばく労災損害賠償裁判を支える会(あらかぶさんを支える会)に参加し、22 年 10/28 第 22 回口頭弁論の裁判傍聴や報告集会を開催、支援運動の拡大に取り組んだ。福島第一原発の自動車整備工・猪狩忠昭さんの過労死	2022 年 4 月 1 日 ～ 2023 年 3 月 31 日	事務所、都内各所	5 人	東京都内、関東近県、福島県の労働者、市民	約 3,000 人	238

	問題の裁判を支援した。 22 年 5/19 東電、元請・宇徳の責任を追及した仙台高裁の控訴審では、請求棄却となり、裁判闘争は終結した。22 年 6/22 向島労基署、10/3 江戸川労基署交渉、12/20 亀戸労基署、12/6 東京労働局交渉、9/6 厚生労働省交渉、22 年 11/7、23 年 3/7 移住者、外国人技能実習生問題関連省庁交渉に参加し、現場からの政策提言を行った。						
労働者の安全と健康に関する団体及びそれと関係する団体、個人のネットワーク形成及び交流事業	全国労働安全衛生センター連絡会議に加盟し、地方の安全衛生・労災職業病センターと情報交換、経験交流を行った。 22 年 10/1-2、全国安全センター第 33 回総会（横浜市）に参加し、「ハラスメントに職場で取り組む」をテーマに講演会を開催するとともに、化学物質管理、フリーランスの労災・安全衛生、精神障害の労災認定基準改定問題について議論した。中皮腫・じん肺・アスベストセンター、中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会、NPO 法人移住者と連帯する全国ネットワーク、生活と権利のための外国人	2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日	事務所及び都内各所	10 人	全国の労働安全衛生活動の担当者、産業安全保健の研究者、医療従事者、被災者、家族、学生、労働者、市民	約 5,000 人	288

	労働者総行動実行委員会に参加し、諸課題に共同して取り組んだ。亀戸ひまわり診療所と連携し、日常の労災職業病相談活動に協力し、建設労働者のじん肺・アスベスト疾患の二次診療活動を支援した。公益財団法人大原記念労働科学研究所、労働者住民医療機関連絡会議、有害化学物質削減ネットワーク、被ばく労働を考えるネットワーク、建築物石綿含有建材調査者協会、軽度外傷性脳損傷友の会、全国じん肺患者同盟等の患者団体との協力関係を深めた。Labor Now、明治大学労働教育メディアセンターに協力し、22 年 11/18 明治大学労働寄付講座で「職場の安全とハラスメント Q&A」を講義した。						
--	---	--	--	--	--	--	--

2022年度 活動計算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

特定非営利活動法人東京労働安全衛生センター

(単位:円)

<経常収支の部>

【経常収益】

会費収入	3,353,000	
寄付金収入	6,776,724	
相談事業収入	1,230,000	
教育研修事業収入	8,045,114	
調査研究事業収入	9,371,000	
助成金収入(環境保護プロジェクト)	2,781,000	
作業環境測定事業収入	18,706,785	
情報提供・出版事業収入	0	
受取利息	173	
雑収入	603,176	
経常収益	計	50,866,972

【事業費】

救済及び援護事業費	2,403,148	
相談委託事業費	2,388,817	
教育研修事業費	5,385,462	
調査研究事業費	21,067,657	
	(調査研究事業費)	1,411,019
	(作業環境測定事業費)	16,015,165
	(環境保護プロジェクト事業費)	3,641,473
情報提供・出版事業費	1,327,165	
法令及び政策提言事業費	238,882	
ネットワーク形成及び交流事業費	288,257	
当期事業費	計	33,099,388
合計	33,099,388	
事業費	計	33,099,388

【管理費】

給料手当	794,000	
アルバイト給料	36,209	
法定福利費	125,499	
福利厚生費	663,610	
通信費	708,421	
荷造運賃	95,826	
水道光熱費	381,546	
旅費交通費	1,251,462	
広告宣伝費	0	
接待交際費	6,000	
会議費	45,891	
事務用消耗品費	122,375	
備品消耗品費	68,940	
新聞図書費	45,210	
印刷経費	34,100	
修繕費	0	
地代家賃	5,850,000	
租税公課	4,127,000	
諸会費	482,000	
慶弔費	21,500	
リース料	540,608	
支払手数料	225,500	
減価償却費	141,924	
管理諸費	154,543	
雑費	計	15,922,164
管理費	計	1,845,420
当期経常増減額		1,845,420

当期収支差額

1,845,420

前期繰越収支差額

19,713,053

次期繰越収支差額

21,558,473

<正味財産増減の部>

【正味財産増加の部】

当期収支差額	1,845,420	
当期正味財産増加の部	計	1,845,420

【正味財産減少の部】

当期正味財産減少の部	計	0
前期繰越正味財産額		19,713,053
次期繰越正味財産額		21,558,473

(注記)

減価償却は定率法による

特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

特定非営利活動法人東京労働安全衛生センター
全事業所

[税込] (単位: 円)
2023年 3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未 払 金	2,198,744
現 金	48,792	預 り 金	249,325
普通 預金	15,927,516	未払法人税等	2,429,200
定期 預金	3,435,583	未払消費税	1,037,800
現金・預金 計	19,411,891	流動負債 計	5,915,069
(売上債権)		負債の部合計	5,915,069
売 掛 金	2,016,960	正 味 財 産 の 部	
未 収 金	779,000	【正味財産】	
売上債権 計	2,795,960	正味 財産	21,558,473
流動資産合計	22,207,851	(うち当期正味財産増加額)	1,845,420
【固定資産】		正味財産 計	21,558,473
(有形固定資産)		正味財産の部合計	21,558,473
建物附属設備	3		
機械及び装置	9		
什器 備品	1,265,679		
有形固定資産 計	1,265,691		
(投資その他の資産)			
保 証 金	4,000,000		
投資その他の資産 計	4,000,000		
固定資産合計	5,265,691		
資産の部合計	27,473,542	負債・正味財産の部合計	27,473,542

特定非営利活動に係る事業会計財産目録

特定非営利活動法人東京労働安全衛生センター
全事業所

[税込] (単位: 円)
2023年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現金	48,792
普通預金	15,927,516
郵便振替口座・城東	(687,460)
中央労働金庫・亀戸	(3,126,823)
中央労働金庫・亀戸	(552,400)
みずほ銀行・亀戸	(9,991,496)
中央労働金庫・亀戸	(1,569,337)
定期預金	3,435,583
中央労働金庫・亀戸	(3,435,583)
現金・預金計	19,411,891

(売上債権)

売掛金	2,016,960
清水建設	(108,460)
東京都産業技術研	(1,491,600)
JR東日本運輸サービス	(162,800)
タハラ	(89,100)
江戸川製缶	(49,500)
江戸川製罐(白井工場)	(49,500)
ウエダ工芸	(66,000)
未収金	779,000
地球環境基金 アスベスト補助金	(779,000)
売上債権計	2,795,960

流動資産合計

22,207,851

【固定資産】

(有形固定資産)

建物附属設備	3
機械及び装置	9
什器・備品	1,265,679
有形固定資産計	1,265,691

(投資その他の資産)

保証金	4,000,000
その他補助	(4,000,000)
投資その他の資産計	4,000,000

固定資産合計

5,265,691

資産の部 合計

27,473,542

《負債の部》

【流動負債】

未払金	2,198,744
東京建設技術センター	(57,000)
山猫印刷	(192,864)
中央災害防止協会	(53,377)
環境管理センター	(214,500)
理想科学工業	(12,281)

特定非営利活動に係る事業会計財産目録

特定非営利活動法人東京労働安全衛生センター
全事業所

[税込] (単位：円)
2023年 3月31日 現在

リコージャパン	(34,125)	
外山尚紀	(1,568,630)	
日測協	(33,770)	
東洋リネンサプライ	(2,497)	
日本規格協会	(29,700)	
預り金	249,325	
源泉所得税	(54,875)	
社会保険料	(184,450)	
その他	(10,000)	
未払法人税等	2,429,200	
未払消費税	1,037,800	
流動負債 計		5,915,069
負債の部 合計		5,915,069
正味財産		21,558,473